

平成26年度事業報告書

特別養護老人ホーム青空

1 基本方針に対する評価

特別養護老人ホーム青空ではご利用者やご家族の意向を重視し、一人一人の意向に沿った対応を心掛け、サービスを提供するよう努めました。

特養では、施設での生活や終末期の対応などをどのようにしたいかを確認し、看取りを含めた対応を職種間で連携、協力して行いました。

ショートステイでは居宅ケアマネやご家族との連絡を密にして、より良いサービスの提供に努め、次回の利用に繋がるよう取り組みました。

デイサービスでは、ご利用者に楽しく、過ごして頂くよう活動内容の充実を図りました。新たな試みとしてパステル画の作品作りを実施しました。

ケアプランセンターでは、ご利用者とご家族のニーズを把握し、自立に向けた総合サービスを提供できるよう、公正、中立に支援を行いました。

2 特別養護老人ホーム青空

(1) 健康管理

バイタル測定、体調や皮膚状態の観察。口腔嚥下体操の実施。毎週2回の嘱託医による回診（土・日）、年2回の定期健康診断、インフルエンザ予防接種、感染症予防対策、褥瘡予防対策等、健康管理に努めました。

(2) 外出支援

外食、ショッピング、初詣、花見等、入居者の意向や身体的状況に合わせ場所を選定し外出支援を実施しました。

(3) 介護支援計画

一人ひとりの変化する状態に合わせ、介護目的、目標を明確にケアプラン作成し実施するよう努めました。

(4) 生活シート

新規入居者の個別ケアを実践するために、入居者の生活歴や好み、意向、どのような生活をしたか把握・整理して一人ひとりにあった生活シートを作成実施に努めました。

(5) ユニットケア

ユニットケアの理念や考え方を職員に浸透するよう働きかけユニットケアを構築するよう努めました。また、利用者本位のゆとりのあるサービスを提供するよう努めました。

3 特別養護老人ホーム青空（ショートステイ）

(1) 健康管理

毎日のバイタル測定、入所時や入浴時の皮膚観察、服薬管理、口腔嚥下体操の実施。感染症予防対策、褥瘡予防対策等、健康管理に努めました。

(2) 生活シート（長期利用者）

個別ケアを実践するために、利用者の生活歴や好み、意向、どのような生活をしたいかを把握・整理して一人ひとりにあった生活シートを作成実施に努めました。

(3) 余暇活動

ユニット会議にてレクや行事、余暇活動について話し合い充実に努めました。季節ごとに花見等外出支援を実施しました。また材料を用意し手芸や季節に合った作品作りを行い持って帰っていただきました。

4 デイサービスセンター青空

(1) 健康管理

毎日のバイタル測定、入所時や入浴時の皮膚観察、口腔嚥下体操、ラジオ体操の実施。ボール等を使った体力増強・筋力アップ、下肢筋力低下の予防として足浴・フットケアを実施して、健康管理に努めました。

(2) カンファレンス

利用者の心理的・身体的問題を的確に捉えるため、利用者の生活歴や生活習慣を総合的に理解し意見を出し合い個別ケアを実施しました。小さな状態変化や異常等についても、ミーティングで意見を出し合い情報を共有しました。また、青空ショートステイとの情報の共有を図りました。

(3) プログラム

お菓子作りや外出等、季節を感じられる行事を毎月企画し、実施しました。また、誕生日に誕生会の開催をしました。パステル画の作品作りを行いました。認知症に効果のあるレクリエーションや園芸療法をとり入れ実施しました。花壇の花がきれいに咲き、喜んで頂きました。

5 委員会活動

事故再発防止委員会、褥瘡予防対策委員会、身体拘束廃止委員会、感染症対策委員会について隔月に開催し、それぞれの目的に応じた予防、改善に努めました。また、行事委員会を随時開催し、青空秋祭りや敬老会、クリスマス会等を開催し、ご利用者に喜んで頂きました。ふくい保育園とも協力しながら、お互いの行事への参加を楽しんで頂きました。

6 避難訓練

年2回（9月自主訓練、3月消防署立会い）定期訓練を実施しました。

昼間の火災や夜間想定での通報、初期消火、連絡周知体制、避難誘導等の訓練を行うことで、防災意識を高め、消防設備の取り扱いや災害時に落ち着いて行動ができるように努めました。

7 研修

(1) 内部研修

事故防止研修、感染症予防研修を開催し、事故の予防や感染症の蔓延予防に取り組みました。看護基礎講座を定期開催し、看取り期における医療の基礎知識や急変時や看取り時の対応を学びました。座学と演習を交え、職員の知識、技術の向上を図りました。

(2) 外部研修

栃木県、栃木県社会福祉協議会、栃木県老人福祉施設協議会等、主催の各種研修への参加を通じ自己研鑽に励み資質及び利用者支援の向上を図りました。

社会就労センターきたざと

1 基本方針に対する評価

社会就労センターの基本機能である「一般就労が困難な障害者に一定の支援のもとに就労の機会を提供する。」を主目標とし、安心して地域で暮らすことができるよう今年度も継続的な就労の機会を提供してきました。また、利用者等の要望を基に個々の能力や適性に応じた個別支援計画を作成し、モニタリングを実施し支援を行いました。

生活介護事業では、一日を通して作業を継続することが困難な利用者への対応など、一人ひとりに合わせたきめ細かな支援に努めました。また、環境整備の仕事にも力を入れ受注量を徐々に増やしてきたことで、作業収入のアップにつなげることができました。

平成26年11月からは就労継続支援事業A型が開始し、「屋内子ども遊び場・キッズピアあしがが」において、企業等に就労することが困難な障害者を雇用し、場内及びショップでの補助業務等を通して、社会生活への適応のための必要な訓練を行うとともに、就労機会の提供を行ってきました。

就労継続支援事業B型では、下請け作業を始めエコリサイクル事業や施設外就労にも力を入れ、事業のさらなる拡大と利用者への高工賃の支給に努めました。

● 個別支援計画

個々の利用者の希望などをもとに、能力や適性に応じた個別支援計画の作成を行い、利用者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援を行いました。

生活介護事業では、利用者の障害特性をよく踏まえたうえで、必要な支援を支援計画書や支援実施書に組み入れ、少しずつでも目標達成へと近づけていくよう支援を進めてきました。

また、就労継続支援事業A型では、就労や生活ニーズを抽出し、利用者の希望する生活や課題等の把握（アセスメント）を行い、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう支援を行いました。

さらに、就労継続支援事業B型では、仕事に対する意識を高めるため、その日の目標数を設定し、最後まで責任を持って取り組むことを意識づけながら支援を行ってきました。また、施設外就労や施設外での作業については、外部との関わりについても適切な対応ができるよう進めてきました。

2 利用者の状況（平成27年3月31日現在）

(1) 生活介護事業

定員 24名 登録者数 37名 (土曜日のみの登録者 7名)

(2) 就労継続支援事業A型

定員 10名 登録者数 5名

(3) 就労継続支援事業B型

定員 20名 登録者数 32名 (土曜日のみの登録者 8名)

セルブ絆

1 基本方針に対する評価

セルブ絆の基本機能である「就職という夢を実現する支援と地域生活の安定と充実のための支援を行う。また、一般就労が困難な障害者に一定の支援のもと、就労の機会を提供する。」を主目標とし、安心して地域で暮らすことができるよう、個々の利用者の目標や意向に合わせたサービスの提供を行いました。

就労移行支援事業「ジョブサポート絆」では、学習プログラムや社会生活技能訓練、ビジネスマナーなど、社会生活に必要であり、かつ、企業に求められる人材となれるよう就労に特化した訓練を行ってきました。また、積極的に求職活動を行い、目標である就職に達した利用者には、より長く就労できるよう定着支援を行ってきました。

就労継続支援事業B型「peterpan」では、根付きつつある「街のパン屋さん」を目標に新商品の開発や販売戦略を講じながら、積極的に事業展開を行ってきました。また、福祉施設の側面としても、利用者が自分の仕事に自信を持って働いていけるよう、各々の担当業務に応じた支援を行ってきました。

● 個別支援計画

個々の利用者や家族の意向などを基に、能力や適性に応じた個別支援計画を作成し、利用者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援を行いました。

就労移行支援事業「ジョブサポート絆」では、就職に必要な個々の課題を把握するためのチェックリストを用い課題整理をし、必要に応じて個別のプログラムを提供するなど支援を行いました。

就労継続支援事業B型「peterpan」では、安定した就労を継続する中で、本人の就労意欲を高め、明確な達成イメージを持つことができる計画の作成に努めました。

2 活動内容

(1) 就労移行支援事業『ジョブサポート絆』

① 学習プログラム

公文式学習を活用し、個々の学力に合わせた学習を行う中で、単に学力を身につけるだけでなく、就職に必要な集中力、持続力、思考力等を養いました。

② 社会生活技能訓練 (SST、コミュニケーショントレーニング等)

就労するために必要な対人関係やコミュニケーションスキルを身につけるため、敬語の使い方や受け答えの仕方等を実践形式で訓練しました。また、金銭管理や身だしなみ、健康管理等の社会生活に必要なスキルについても、繰り返し訓練を行いました。

③ 企業・現場実習支援

企業での実習において、より実践に近い形で経験を積み、そこから見えてくる個々の課題に対する訓練を行いながら、就職に結びつくよう支援を行いました。

また、障害者を雇用する地域の企業や職域の開拓を積極的に行い、障害者が働きやすい環境、場所の提供に努めました。

④ ジョブコーチ支援

就労移行支援プログラムに沿って、専門のスキルを持ったジョブコーチが事業所内や実習先等で支援を行いました。

⑤ 地域生活定着支援

矯正施設を退所した後、自立した生活を営むことが困難な障害者や高齢者に対し、再犯を繰り返さないよう福祉サービスへ繋ぐ支援を行いました。

⑥ 障害者雇用定着促進事業（平成27年3月から実施）

離職防止と障害者の雇用率の向上を図るため、就労後3年未満の障害者を雇用する事業所等及び当該雇用障害者双方を対象に、定着支援計画の提供を行うための企業募集を行いました。

⑦ 就職者の状況（実績）

今年度は、目標就職者数10名に対し、実績は6名でした。

また、今年度就職者の3月末現在の定着率は100%で、全員が継続して就労しています。

（2）就労継続支援事業B型『peterpan』

① 生産活動内容

ア 食品加工業務（製パン等）

イ 店舗における販売及び喫茶運営

3 利用者の状況（平成27年3月31日現在）

（1）就労移行支援事業『ジョブサポート絆』

定員 10名 登録者数 9名（年間契約者数 20名）

（2）就労継続支援事業B型『peterpan』

定員 10名 登録者数 10名（年間契約者数 11名）

ダイアクティビティセンターWIN

1 基本方針に対する評価

「WIN」では、個人の感性を最大限に生かし、その人らしく活動することを大きな目的とし、利用者個々に合わせた「日常生活上の支援・介護」「軽作業等の生産活動や創作的活動の機会の提供」「利用者主体の個別支援計画の作成、実践」を行ってきました。

WINグループ・銀河グループそれぞれの特色を生かしながら、WINグループでは食事・排泄・

移動等の日常生活支援を中心としながら、創作活動や音楽活動・スノーズレン等の活動を行いました。また、銀河グループではEMぼかし作りや再生紙活動等の作業的な活動及び楽器演奏・スポーツレクリエーションなどの活動を行いました。さらに、新年会・七夕・クリスマスパーティーなどの季節に応じた活動を行い、その中で和太鼓・オカリナ・フラダンスなどのボランティアの受け入れを行いました。また、合同の活動としてカラオケ（毎週水曜日）、少林寺拳法体操（隔週水曜日）、外出活動として日帰り旅行（群馬サファリパーク）、小グループ外出（買い物・食事・フラワーパーク）を行うなど、利用者に大いに楽しんでもらえるような活動の提供に努めました。

● 個別支援計画

利用者及びその家族との話し合いの場を設け（個別支援会議）、個別支援計画の十分な説明を行ったうえで作成を進めました。計画作成後は、随時モニタリングを実施し、その都度の説明と同意とともに、次の支援へと結び付けていきました。

また、日々の活動の中で、利用者と職員の信頼関係を深め、安全で楽しく有意義な時間が過ごせるよう最大限に配慮をしてきました。

2 活動内容

個別支援計画を基に、利用者個々の能力や適性に応じた様々な活動プログラムを提供するとともに、機能訓練を実施し日常生活能力の維持・向上に努めました。また、日常生活支援を行うことにより、利用者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援を行いました。

(1) 文化的活動

ア 音楽活動

(ア) カラオケ

好きな歌を歌うことにより楽しい時間が過ごせるよう配慮しながら行いました（週1回（水曜午後）実施）。

(イ) 音楽活動等

それぞれのペースや好みに応じた音楽の提供、様々な楽器に触れ、演奏する楽しさ、仲間との一体感などを通し、心身のリラクゼーションや自己表現の場の確保を図ってきました。

イ 造形活動

(ア) 工芸

ケナフと牛乳パックを使用した再生紙作りや折り紙を使ったちぎり絵などの工芸品を作成しました。集中して活動を行う時間の提供を目的とし、支援を行いました。

ウ 作業活動

障害の程度に応じた作業項目を設定し、その中で個別支援計画に基づく支援を行いました。物を作る喜びを感じ、更なる作業意欲を引き出せるよう支援を行いました（火曜午後・木曜午後実施）。

エ スノーズレン

ホワイトルーム活用によるリラクゼーション・ボールプール等の活用によるアクティ

ビティ的機能訓練等利用者の希望や計画的な利用を行いました（随時実施）。

(ア) 本人の希望による自由な利用（気分転換やリラクゼーションとしての利用）。

(イ) 必要と思われる利用者に個別プログラムとして計画的に実施し、援助者との楽しく、ゆったりとしたコミュニケーションを図りました。

(ウ) その他利用者の希望する活動を個別活動としてプログラムに取り入れ行いました。

(2) 機能訓練

ア 軽運動

(ア) 散歩

気候の良い日を選び、外の空気を吸うことによるリフレッシュや季節感を感じる事を大きな目的として実施しました。

(イ) レクリエーション

利用者全員が参加できる軽運動として、ゲートボール、ボウリング等を中心に行いました。体力の維持、増進を図れるよう配慮しながら支援を行いました。

(ウ) ストレッチ等

個別支援計画に沿い、個別に必要なストレッチや各種練習、訓練を行いました（随時実施）。

3 利用者の状況（平成27年3月31日現在）

定員 40名 登録者数 50名（男子 30名 女子 20名）

（銀河グループ 26名、WINGグループ 24名）

セルプみなみ

1 基本方針に対する評価

セルプみなみでは、社会就労センターの基本機能である「一般就労が困難な障害者に一定の支援のもとに就労の機会を提供する」を主目標とし、利用者が地域で安心して働き、暮らすことができるよう個別支援計画を作成するとともに、モニタリングを行い、個々の目標や意向に合わせたサービスの提供を行いました。

生活介護事業では、利用者の状況に合わせた食事・排泄等の介護や日常生活上の支援を行うとともに、心身の状況に応じた生産活動を提供し、利用者一人ひとりの状況に合わせた自立支援・日常生活の充実のための支援に努めました。

また、就労継続支援事業B型では、雇用契約を締結しない就労や生産活動の機会を提供するとともに、施設外就労を実施し、より高い工賃が支給出来るよう努めました。特に、製品製造では積極的なイベント販売への参加や、季節ごとに限定商品の販売を行い一定の成果をあげることができました。また、利用者により高い工賃が支給できるよう目標を定めるとともに、一般就労に必要な知識、能力を高める支援を行いながら一般就労に向けた支援を行いました。

● 個別支援計画

利用者や家族の希望や意向などを基に、個々の能力や適性に応じた個別支援計画を作成し、利用者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援を行いました。

生活介護事業では、利用者一人ひとりの日常的に必要な生活支援を明確にするとともに、生産活動における作業支援目標の設定に努めた計画を作成しました。

就労継続支援事業B型では、安定した生産活動を提供する中で、作業意欲や達成感を意図した計画作成に努めました。

2 活動内容

(1) 生活介護事業

① 生産活動内容

下請け作業

(2) 就労継続支援事業B型

① 生産活動内容

ア 製品製造（クッキー等製造・販売）

イ 施設外就労（清掃作業）

3 利用者の状況（平成27年3月31日現在）

(1) 生活介護事業

定員 15名 登録者数 12名

(2) 就労継続支援事業B型

定員 15名 登録者数 15名

ドナルド・デイジー・あゆみの家

1 基本方針に対する評価

- (1) 利用者が地域において共同して自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において相談や入浴、排泄又は食事の介護その他の日常生活上の援助を適切に行ないました。
- (2) 利用者本人及びその家族と話し合う場を設けて、個別支援会議を行いました。また、アセスメントを行うことにより、個々に合った生活及び支援の方法を計画し、本人及び家族が安心して暮らすことができるための支援に努めました。

2 活動内容

- (1) 利用者一人ひとりの主体性を尊重しながら、基本的な生活習慣における支援を確立し、生活の幅を広げていけるよう努めました。また、集団生活への適応、仲間との良い関係が築けるように支援しました。家庭に近い環境の中で、細やかな配慮をもって支援を行うよう努めました。利用者の能力に合わせて家事等のスキルアップを目指し、また、食事、入浴、排せつ、着脱等

の支援を必要に応じて行ないました。

- (2) 生活の場であることを重視し、外出や買い物、地域行事への参加等の余暇活動の支援に努めました。
- (3) 食事については、栄養に留意するとともに、栄養士や職員が利用者の意見や嗜好を取り入れた献立を考え、調理をして、楽しく食事がとれるよう努めました。誕生日会やイベントにはお楽しみ献立を取り入れました。利用者の嗜好に合わせ、食べやすいよう配慮し、食事の準備から片付けまでの支援を行ないました。食堂については、清潔で明るく楽しい場であるよう、厨房については、常に衛生面に注意し、清潔に心がけました。
- (4) 嘱託医や家庭との連携を密にし、健康管理、疾病の予防、服薬管理等、適切な対応・支援に努めました。また、感染症予防のための手洗い・うがいの励行のほか、感染症拡大防止策として、吐物処理方法の研修会等を行いました。
- (5) 火災等の災害に備えて、定期的に自動火災報知機やスプリンクラー、AED等の使用法の確認を行ったほか、防災計画に基づく避難訓練を年2回実施しました。

3 利用者の状況（平成27年3月31日現在）

定員： ドナルド 5名、デイジー 4名、あゆみの家 5名 計14名
利用者数：ドナルド 5名、デイジー 4名、あゆみの家 4名 計13名

ビタミンクラブ

1 基本方針に対する評価

知的な障害を持つ児童が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、その都度適切な支援及び訓練を行うことを主目標とし、きめ細かなサービスの提供を行ってきました。

● 児童発達支援計画（個別療育支援）

児童発達支援計画を作成し、利用者の個性を尊重しつつ、その持っている個性を最大限に伸ばせるよう心掛け、楽しさと満足感を感じながら怪我や事故等が無く成長できるよう療育支援を行いました。また、目標達成が見られた場合は新たな目標を個別支援会議等で家族と話し合い、計画の変更等を随時行いながら、より良い支援が行えるよう努めてきました。

2 活動内容

- (1) 運動ゲーム…ラジオ体操・エアートランポリン・風船バレー・シャボン玉遊び・ゲーム各種等、体を動かし楽しみました。
- (2) 工作…お絵かき（絵の具・クレヨン・ペン）・貼り絵・紙粘土・小麦粘土・工作各種等楽しみながら子供たちの創造力を育みました。
- (3) 絵本紙芝居…絵本・紙芝居・エプロンシアター・パネルシアター等を楽しみました。
- (4) スヌーズレン…視覚・聴覚・触覚・嗅覚などへの刺激を感じ、それを楽しみリラックスできる

空間・時間を提供しました。

(5) リトミック…音楽を楽しみながら体を動かし、心と体のバランスのとれた発達を促しました。

(6) 音楽活動 (16:15~16:45) …小集団グループでの音楽セッションを行い、音楽を通して、お友達・スタッフとのコミュニケーションを図りました。身体運動を引き出す為や社会性・協調性を養うなどを目的としました。

3 利用者の状況 (平成26年度)

年間利用者数 延べ7,644人 (一日平均31.2人)

日中一時支援事業 スマイル

1 基本方針に対する評価

スマイルの基本方針である「障害・年齢の枠にとらわれず、幅広い視野から地域で暮らす全ての方の様々なニーズに対して、心のこもったサービスの提供」を主目標とし、サービスの提供を行ってきました。児童から成人までの幅広い利用者の様々なニーズに合わせた支援や、ドライブ・散歩といった郊外活動等も取り入れ、普段と違った環境の中で怪我や事故が無いよう安心して一緒に過ごせるような支援を行いました。

2 活動内容・利用状況

(1) 日中一時支援事業

放課後や長期休暇中等の日中において活動場所が必要な障害児者を対象に活動の場を提供するとともに、家族の就労支援と一時的な休息支援を行う。

① 契約状況

足利市 84名、佐野市 18名、館林市 2名、太田市 0名、邑楽町 1名 合計105名

② 利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
足利	実人数	30人	26人	23人	26人	27人	28人	32人	22人	35人	23人	22人	25人	341人
	延件数	114件	110件	105件	109件	98件	106件	94件	73件	95件	63件	79件	78件	1,124件
佐野	実人数	12人	10人	11人	15人	14人	14人	13人	10人	9人	10人	13人	10人	141人
	延件数	73件	63件	62件	85件	95件	76件	67件	55件	67件	45件	54件	70件	812件
館林 太田	実人数	1人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	17人
	延件数	5件	6件	7件	6件	2件	4件	17件	8件	10件	13件	11件	10件	99件
合計	実人数	43人	37人	35人	42人	42人	43人	47人	34人	46人	34人	37人	37人	477人
	延件数	192件	179件	174件	200件	195件	186件	178件	136件	172件	121件	144件	158件	2,035件

(2) タイムケアサービス

障害児者本人の介護、家族の介護負担の軽減を目的としたサービスで、時間の制限なく利用できるサービス。

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数(人)	12	16	12	16	18	20	15	15	20	10	10	10	174
延時間数(時間)	36.5	46.0	40.5	34.5	46.5	41.0	22.5	26.0	30.5	17.0	43.5	15.5	400

(3) 長期休み特別タイムケア

学校の夏休み等の長期休み期間中のみのサービス。

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数(人)	11		5	10	11				4	8		7	56
延時間数(分)	550		110	960	2,040				60	200		650	4,570

両毛圏域障害者就業・生活支援センター

1 相談支援の実施

(1) 相談・支援の実施

主任就業支援担当者1名、就業支援担当者2名、生活支援担当者2名を配置し、離職した障害者及び在職中の障害者の職業生活における自立を図るため、以下の業務を行いました。

- 障害者からの相談に応じた、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題についての必要な指導及び助言その他の援助。
- 事業主に対する障害者の就職後の雇用管理に係る助言等。
- 障害者に対する障害者職業総合センター、地域障害者職業センター、障害者雇用支援センター又は事業主により行われる職業準備訓練を受けること及び職場実習を行うことについてのおっせん。

【具体的実施状況】

- 障害者に対する相談・支援
 - ・ 支援対象障害者数 629人
 - ・ 相談支援件数 1,832件
 - ・ 就職件数 69件
- 事業主に対する助言
 - ・ 支援対象事業所数 86事業所
 - ・ 相談支援件数 746件
- 職場実習等のあっせん
 - ・ あっせん件数 45件

○主な相談支援内容

- ・就職先を一緒に探して欲しい。ハローワークへの同行。(就職に向け)
- ・仕事が覚えられない。悩みがある。事業所訪問(職場定着に向け)
- ・障害者を雇用したが、うまくいかない。どのように進めたらよいのか分からない。(事業主支援)

(2) 職場定着促進のための在職者の交流活動の実施

在職中の対象障害者を対象に、グループワーク等で職場の悩み等を話し合う交流の場を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善を図り職場定着を促進する。(年4回)

【具体的実施内容】

在職者の交流活動を以下のとおり4回実施しました。

第1回	平成26年6月21日(土)	10:00～13:00	場所：佐野中央公民館	参加者：13名
第2回	平成26年8月30日(土)	10:00～13:00	場所：足利市生涯学習センター	参加者：11名
第3回	平成26年12月6日(土)	9:45～12:30	場所：足利市民体育館	参加者：17名
第4回	平成27年2月14日(土)	10:00～12:00	場所：足利市民体育館	参加者：14名

2 関係機関との連絡会議の開催

- (1) 業務の円滑かつ有効な実施に資するため、労働局、ハローワーク、地域障害者職業センター、自治体、福祉事務所、保健所等の関係機関との連絡会議を開催し、これらの機関との連携を図りました。(年2回)
- (2) 就業・生活支援センター業務の円滑かつ有効な支援実施に資するため、他の就業・生活支援センター、自治体等の関係機関との担当者会議を開催し、これらの機関との連携を図りました。

足利むつみ会足利障害者相談支援センター

1 全体状況

足利市の地域生活支援事業における相談支援事業所として、地域の障害者に対する相談業務、障害者に関する様々な問題の解決支援にあたるとともに、指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業所として、主にサービス利用計画の作成に関する業務を行いました。

2 活動内容・実績

(1) 足利市委託相談支援事業

3法人の共同受託により次のような活動を行いました。

相談実人員：582人 相談件数：4,038件

- ・複数のニーズがある相談事例については、ケアマネジメントの手法を用い、関係機関と連携を図りながら支援を行いました。
- ・足利市地域自立支援協議会の事務局としての活動を積極的に行いました。
- ・特別支援コーディネーターのワーキングに出向いて制度の説明や助言を行いました。

- ・ 特別支援連絡協議会に出席し、特別支援教育関係者とサポートブックの有効活用について協議を行いました。
- ・ 精神保健福祉ネットワーク会議において、地域移行・定着に関する研修会の企画等を行いました。

(2) 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

本プラン作成数 者：122件 児：20件 合計142件

モニタリング数 者：205件 児：15件 合計220件

※ 指定一般相談支援事業における地域移行支援及び地域定着支援の業務の関する相談は実績がありませんでした。

ふくい保育園

1 保育運営方針に対する評価

ふくい保育園では、子どもの健全な心身の発達を図り、日々生活する子どもにとって最高の生活の場としての視点を考え、子どもの最善の利益を常に配慮しながら、保育上必要な行事・事業等に創意工夫して、年齢に応じた生活の連続性、発達の連続性を心がける保育を行って参りました。平成26年4月1日に開園して1年間、子育て支援拠点事業、一時預かり事業、延長保育、乳児保育、すこやか保育を実施し、子育て相談にも積極的に取り組みました。

保育園に入園を希望する児童数も増加し、多様化した保育ニーズに対応しながら保護者への子育て支援も充実してきました。

また、保護者会との関係を密にして、地域との連携、近隣の小学校との連携、自治会、老人会及び隣接した特別養護老人ホーム青空等との連携にも努力して、方針にそった、より良い保育運営に心がけて参りました。

2 保育内容

保育計画に基づき、保育目標の丈夫な体と豊かな心「あかるく なかよく げんきよく」について、自分で考え、自分で行動できる力が身につき、保育士や友達など人との関わりの体験を通して、豊かな感性や表現する力が身につけてきました。

子どもと保護者の安定した関係づくりに配慮しながら、子どもの自発的な活動を大切に出来るような環境作りをし、発達段階を踏まえいろいろな遊びを数多く経験して、物事に対する意欲と創造性を見につけることが出来ました。

(1) 健康

ア 進んで戸外で遊び、健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事をする事が出来るようになりました。また、身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を年齢に応じた計画に基づき実施できていました。

イ 自分の健康に関心を持ち病気の予防などに必要な活動を進んで行い、危険な場所や災害時などの行動の仕方が分かり安全に気をつけて行動するようになりました。

(2) 人間関係

ア 安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に関心を持ち、模倣したり遊

- んだり親しみをもって自ら関わり、共に過ごす喜びを感じられるようになりました。
- イ 友達と一緒に活動しながら共通の目的を見出し、協力して物事をやり遂げようとする気持ちが芽生えました。
 - ウ 物事の良し悪しに気づいたり、異年齢児の友達に優しくしたり、外国人など自分とは異なる文化を持つ人に思いやりを持てるようになりました。
 - エ 地域の人や高齢者の皆様など自分の身近な生活に関係の深いいろいろな人と花植えをしたり遊んだりしながら、親しみが持てるようになりました。

(3) 環境

- ア 自然に囲まれた園周辺の身近な事象に関心を持ち、動植物に親しみ、いたわったり大切にしたり、野菜を育て味わうなどして、生命の尊さに気づいていました。また、自然や人の生活に変化のあることも体験し様々な物に触れ、美しさ、不思議さなど生活の中で、性質や仕組みに興味や関心を持ちました。
- イ 好きな遊具やおもちゃに興味を持って、様々な遊びを楽しみながら数量や図形、簡単な標識や文字などに関心が持てるようになりました。

(4) 言葉

- ア 保育士等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、人の話をよく聞き、自分の経験したことや考えたことを、親しみをもって聞いたり話したりできるようになりました。
- イ 絵本や紙芝居、物語などの読み聞かせを通して、日常生活の中で文字などに興味や関心を示し、必要な挨拶や会話による意志疎通が図れるようになりました。
- ウ 生活の様子を自分の言葉で発表できるようになり、経験したこと、見たこと、聞いたこと、味わったこと、感じたこと及び考えたことを自分なりに表現できるようになりました。

(5) 表現

- ア 様々な出来事の中で、感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり自由に書いたり作ったりできるようになりました。
- イ いろいろな素材や用具に親しみ、工夫して遊べるようになりました。また、音楽に親しみ、歌を歌ったり楽器を使ったりしながら楽しめるようになり、自分のイメージした動きや言葉など、演じたり遊んだりすることを生活発表会やリトルフェスティバルで表現できるようになりました。

3 環境整備

利用される方が、安全で快適な利用ができるように環境を整え、清掃等の担当を定め、施設内外の美化整備に努めました。

4 健康管理

保護者との連絡を密にして、乳幼児の健康状態を把握し、健康維持を図るとともに、年2回の定期健康診断及び歯科検診を実施しました。特に0歳児1歳児に於いては毎月1回、小児科の医師による定期的な健康診断も実施しました。

また、毎朝、園児の健康状態をチェックし、疾病の予防や早期発見に努めました。

5 避難訓練・消火訓練、交通安全指導等

火災・地震・台風等の緊急時のため、災害を想定した計画書に基づき、月1回訓練を行いました。交通事故から子どもを守るために月1回指導を行い、各クラスでは毎週金曜日に交通安全指導を実施しました。防犯・不審者対策も年3回実施しました。

6 保護者との連携

保護者には、園だより、クラスだより、行事の案内及び給食の献立等必要な事項を文書で知らせたり連絡したりして、子どもの生活の様子などを理解してもらいながら連携を図りました。また、保護者会の協力を得て、園の行事に参加してもらい、保護者の一日保育士体験等を通して、より良い信頼関係を築きました。

7 小学校や地域との連携

小学校の行事、卒園生との交流、地域の自治会や地区社会福祉協議会及び地域の老人会等との連携、交流を積極的に図りました。

8 入園児童数及び事業の状況（平成27年3月31日現在）

（1）保育事業

定員 100名

0歳児：12名、1歳児：18名、2歳児：18名、3歳児：25名、4歳児：15名、5歳児：18名 合計：106名

（2）一時預かり事業

延べ利用者数(年間) 65名

0歳児：29名、1歳児：14名、2歳児：20名、3歳児：0名、4歳児：0名、5歳児：2名

（3）子育て支援拠点事業

延べ利用者数(年間) 380組（841名）

父：8名、母：378名、祖母：4名、児童：451名

（4）延長保育

延べ利用者数(年間) 51名

0歳児：0名、1歳児：12名、2歳児：12名、3歳児：12名、4歳児：1名、5歳児：14名

（5）時間外保育

延べ利用者数(年間) 朝：678名、夕：747名

（6）子育て相談

延べ利用者数(年間) 79名、実利用者数(年間) 74名

キッズピアあしかが

1 基本方針に対する評価

「キッズピアあしかが」は、子どもたちの運動機能の向上を図るとともに、子育て世代の交流等により子育て支援を行う施設として平成26年12月6日に開所した屋内子ども遊び場で、子供と保護者が安心して、一緒に、楽しく、自由に遊べ、何度も利用したくなるような楽しい時間を提供することを可能とし、幼少期からの運動機能及び体力の向上に寄与するとともに、子育て世代の交流の場の提供・交流促進、子育てに関する相談・援助、地域の子育て関連の情報提供などを実施しました。

さらに、運営業務の一部を障害福祉サービス事業所に委託することで、障害者が地域の中で一般の方と交流し生き生きと働く場を提供することができ、ノーマライゼーションにも寄与しました。

2 事業概要

- (1) 名称： 足利市屋内子ども遊び場 「キッズピアあしかが」
- (2) 場所： ヨークタウン足利2階 足利市朝倉町2-21-16
- (3) 事業内容：
 キッズピアあしかがの主な事業目的は、「子どもの健全育成の実践」「子育て家庭の絆を深める機会の提供」「子育て世代の交流の場」「地域の活性化」などであり、子育て支援の拠点としての役割を担い次のような事業を展開しました。
 ア 屋内子ども遊び場における遊具等を活用しての子どもの健全育成
 イ 子育て世代に向けての関連情報の提供
 ウ 子育て世代への交流の機会及び交流の場の提供
 エ 子育てに関する相談の場の提供
 オ 足利市が実施する関連施策等への協力
 カ 地域の関係団体等の事業への協力及び地域活性化事業への協力
 キ 地域子育て支援拠点事業導入のための研究開発
 ク その他子どもの健全育成に関する事業の開発
- (4) 営業時間： 「遊び場」 10:00～17:30
 第1クール 10:00～11:30
 第2クール 12:00～13:30
 第3クール 14:00～15:30
 第4クール 16:00～17:30
 「ピクニックエリア（休憩スペース）」 10:30～16:00
- (5) 休業日： 毎週水曜日 12/31・1/1等
 ＊毎月月末営業日は、第3クールまで営業
- (6) 入場料： 子ども・保護者とも1人100円
 ＊子どもの対象年齢は6か月～小学生以下までとし、保護者1名に対して、子ども3名までの利用としました。
 ＊保護者は、扶養者又は20歳以上の者で監督責任の持てるものとしました。
- (7) 定員： 各クールの定員は150名程度としました。
 ＊混雑状況等に応じて利用定員を変更しました。
- (8) 委託： 障害福祉サービス事業所「社会就労センターきたざと」へ運営の一部を委託しました。

3 安全管理

利用者が安心して施設を利用できるよう安全配慮に努めました。感染症予防・けが・救命措置を行います。また防犯等に努めました。

4 広報活動

一般市民等を対象に、施設の基本方針・活動内容などを知らせるHPを作成しました。また、市内保育園・幼稚園・小学校を中心にパンフレット等の配布を行いました。

5 利用状況

平成26年12月	11,243人	※入場1万人達成
平成27年1月	12,272人	
2月	11,285人	
3月	15,351人	※入場5万人達成

合計	50,151 人	(内訳：子ども 27,272人、大人 22,884人)
----	----------	-----------------------------